

みえ市民活動・ボランティアニュース

ひろげる つなぐ かえる

2013

2

2013年1月25日発行
通巻170号

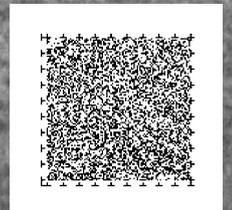


熱中手帖。-これまで×これから- vol.8

特定非営利活動法人 伊賀FCくノ一

理事長 吉森 茂雄

下の模様はSPコードと呼ばれるバーコードで、専用の読取機で音声を聞くことができます。



※2012年度のチーム「伊賀FCくノ一」

執中手帖。

—これまで×これから— vol.8

支えてくれる地域の方とともに、
日本代表レベルの選手を生み出す

特定非営利活動法人
伊賀 FCくノ一

理事長 吉森 茂雄

これからは NPO 法人として、より大きな活動をしていきたい

チーム発足のきっかけや歴史についてお聞かせください。

もともと伊賀地区で活動をしていたシニアのサッカーチームのなかで、少年や女子チームの育成が行われており、1976年に伊賀FCくノ一の母体である「伊賀上野くノ一サッカークラブ」が創部されました。1989年からは、実業団である「プリマハムFCくノ一」になりましたが、スポンサーが撤退したことで、2000年より「伊賀FCくノ一」という市民球団として活動していました。

2012年6月からは「特定非営利活動法人伊賀FCくノ一（以下、「くノ一」と略）」となり、活動自体は変わらないものの、NPO法人格を取得したことで行政

や企業との連携がスムーズにできるようになりました。これからより大きな活動をしていけると考えています。

* FC：「フットボールクラブ」の略称。

伊賀市の活性化を、地域の方たちとともにサッカーの練習や試合以外に活動していることはありますか？

小学校を中心に、依頼をいただいた学校へ選手が訪問し、サッカーに打ち込んできた人生を子どもたちに語る「夢教室」を開いています。サッカーの楽しさはもちろん、目標や夢を持つこと、仲間づくりの大切さなどを伝えています。

その他にも、幼稚園から小学5年生の子どもを対象にしたサッカースクールを月2回開いたり、伊賀市サッカー協会さんと共同で「伊賀市少女サッカー

教室」を定期的に行っていますよ。子どもたちが楽しくサッカーをしている姿を見に、保護者の方が訪れてくれるので、地域交流という部分も大きく担っていると思います。

くノーでも同じように、子どもを見に訪れていた保護者の方々から交流が生まれ、今では各地で開催される試合会場にも運営スタッフとして手伝いに来てくれるなど、一般のボランティアの方とともに組織の一員となってきています。保護者の支えがくノーの強みのひとつだと、本当に感謝していますし、みんなでチームを支えているという喜びも感じますね。

それに地元の企業やお店が、くノーにちなんだコラボ商品をつくってくださることもあります。選手が試合などで身に付けているヘアバンドも、伊賀組紐くみひもでつくられているんですよ。選手が使うことで、伊賀市のPRや知名度の向上に貢献できればと考えています。

また、任意団体からNPO法人になったことで、交通安全や人権の啓発活動、乳がん検診の呼びかけなどに携わらせていただけますし、今までよりも幅広い活動ができるようになりました。NPO法人として地域と一緒に活動しながら大きくなっていきたいと思っています。

伊賀市を女子サッカーの聖地に

現在の課題と、これからの展望についてお聞かせください。

現在くノーは「トップチーム」の下部に、「くノーサテライト」「くノージュニア」という組織があり、一貫した指導を行っています。小学生たちも、トップ選手を目標として日々頑張っていますが、三重県の高校には女子サッカーチームが少ないので、ここで育った選手が県外に進学してしまうのが現状です。地元に残ってスポーツを続けてもらうためにも、地元で活躍できるような環境づくりや進路指導の体制を整え、将来は伊賀市を“女子サッカーの聖地”にしていきたいなと思っています。

あとは、専従スタッフの確保と、グラウンド等の整備も進めていきたいですね。今練習している場所は土のグラウンドなので怪我をすることも多いです。試合本番は芝のグラウンドでプレーをするので、感覚も違います。これらが実現できるよう、行政との連携も深めて、より地域に根付いた強いチームをつくってきたいですね。

いつも支え応援してくれる地域のみなさんのためにも、ここから日本代表レベルの選手を輩出して、チームをもっと有名にし、さらに伊賀市を盛り上げていきたいと思っています。競技場に一人でも多くお客さんが入ってくれるような、地域に恩返しできるチームにしていきたいですね。



選手たちの懸命なプレーにファンの温かい声援がとぶ

DATA

特定非営利活動法人伊賀 FC くノー

住 所 518-0015
三重県伊賀市土橋 61 番地
Tel & Fax 0595-24-2564
E-mail ifc@ict.ne.jp
ホームページ <http://www.igafc.jp>

代 表 者 理事長 吉森茂雄
団体設立年月日 1976年4月1日
NPO法人化年月日 2012年6月18日
会 員 数 80名
会 費 正会員 5,000円

助成金情報



災害

ジャパン・プラットフォーム

「共に生きる」ファンド (第12回)

受付期間 2月7日(木)

対象団体 次の条件を満たす法人格を持つ非営利団体
・独立した理事会及び事務局が存在していること
・活動報告に必要な経理を実施できる団体であること

対象活動 ・東日本大震災で被災された方々や被災地域の緊急から復興までの支援活動全般(行政との連携を含む)。
・被災地における活動だけでなく、全国にある被災者の避難先、原子力発電所事故に伴う住民の避難先における活動も対象とする。

助成金の額 【はじめて助成申請をする場合】

①法人登記から1年未満の団体、または法人登記から一年以上経過しているが前年度の支出実績が50万円未満の団体は1事業あたり100万円まで。

②前年度の支出実績が50万円以上、200万円未満の団体は1事業あたり500万円まで。

③前年度の支出実績が200万円以上の団体は1事業あたり1,000万円まで。

※事業内容や実施体制等を検討した上で、例外的に上限を超えた助成を検討する場合もあるので、事前に事務局に相談すること。

【すでに本助成を受けたことがあり、継続または新規事業について申請する場合】

原則1事業あたり1,000万円まで。1,000万円を超える助成申請の場合は、事前に事務局に相談すること。

応募方法 HPより事業計画書および予算設計書をダウンロードし必要事項を記入の上、指定の書類を添付して、E-mailまたは郵送で申請。 ※詳細はHP参照

問合せ先 (特活) ジャパン・プラットフォーム 事務局国内事業部
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1
大手町ビル2階266区

Tel 03-5223-8858 Fax 03-3240-6090

proposal@japanplatform.org

HP <http://www.japanplatform.org/programs/higashi-nihon/tomoni-ikiru.html>

子ども 社会

未成年者飲酒予防基金－2013年度募集

受付期間 2月21日(木) 当日消印有効

対象団体 主として未成年者の飲酒予防のための社会活動または研究を主宰・実施している団体、個人。但し、酒類業に直接関わっている団体、個人は除く。

対象活動 未成年者飲酒防止の啓発活動、未成年者の飲酒が身体に及ぼす影響に関する研究 など

助成金の額 1件の上限は100万円とし、10件程度。

応募方法 HPの「募集エントリーフォーム」に必要事項を入力して登録。「申請書」を添付した確認メールが返信されるので、必要事項を記入し郵送。

問合せ先 アサヒビール(株) 社会環境部内

「未成年者飲酒予防基金」事務局

〒130-8602 東京都墨田区吾妻橋1-23-1

Tel 03-5608-5195 Fax 03-5608-5201

HP http://www.asahibeer.co.jp/csr/user/user_31.html

文化 福祉 環境 国際

全日本冠婚葬祭互助協会 第14回社会貢献基金助成

受付期間 2月28日(木) 必着

対象団体 次の条件を満たす、非営利組織(法人格の有無不問)または大学、研究機関など

①定款に準ずる規約を有し、自ら経理し、監査することができる会計機能を有すること

②団体等の主たる事務所を日本国内に有すること

③団体等の意思を決定し、今回申請する活動を執行する体制が確立していること

④団体の活動実績(今回申請する活動または類似した活動)を3年以上有すること

※詳細はHP参照

対象活動 ①「婚礼、葬儀など儀式文化の調査研究」の趣旨に合致する事業

②高齢者・障害者・児童福祉事業

③環境・文化財保全事業

④国際協力・交流事業

助成金の額 総額1,000万円、1件当たり200万円を上限とする。但し、研究助成については、100万円を上限とする。

応募方法 HPより交付申請書・収支計算書をダウンロードし必要事項を記入の上、指定の提出書類を添付して郵送。

問合せ先 (社) 全日本冠婚葬祭互助協会

社会貢献基金 運営事務局

〒105-0004 東京都港区新橋1-18-16

日本生命新橋ビル9階

Tel 03-3596-0061

HP <http://www.zengokyo.or.jp/social/promotion/01.html>

災害 地域

「砂防ボランティア基金」平成25年度助成

受付期間 3月31日(日)

対象団体 砂防ボランティア活動を実施する団体又は個人

対象活動 (1)砂防ボランティア団体等が、土砂災害被災地域において実施するボランティア活動

(2)砂防ボランティア団体等が実施する砂防行政への支援活動

(3)砂防ボランティア団体等が実施する地域に根ざした防災活動等

(4)その他「基金」にかなう事業

助成金の額 助成金要望額を申請

応募方法 HPより砂防ボランティア基金助成申請書をダウンロードし必要事項を記入の上、事務局に提出する。 ※詳細はHP参照

問合せ先 (一財) 砂防ボランティア整備推進機構 企画調査部
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-4

砂防会館別館6階

Tel 03-5216-5872 Fax 03-3262-2202

kikaku@sff.or.jp

HP <http://www.sff.or.jp/volunteerkikin/>

三重県 NPO 法人活動実態調査報告 8

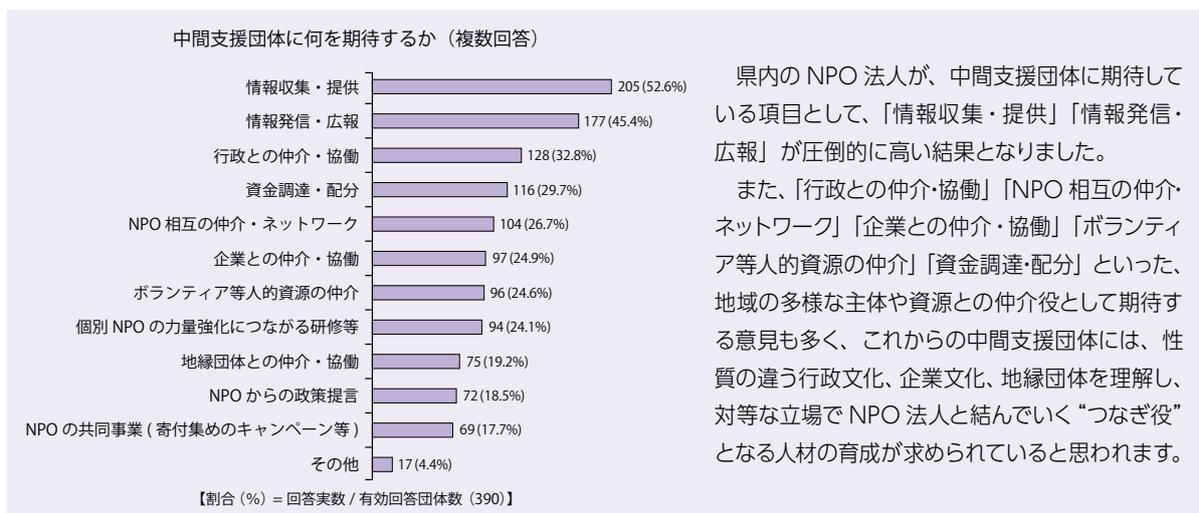
II 調査結果

(7) 中間支援団体

今月号は「中間支援団体」の中から、「中間支援団体に何を期待するか」についての項目を抜粋してご紹介します。

■中間支援団体に何を期待するか（複数回答）

今回調査を行った NPO 法人のうち、各項目の回答実数を有効回答数である 390（団体）で割った割合を算出しています。なお、これらの回答の他に、「わからない」という回答が 77 件（19.7%）ありました。



県内の NPO 法人が、中間支援団体に期待している項目として、「情報収集・提供」「情報発信・広報」が圧倒的に高い結果となりました。

また、「行政との仲介・協働」「NPO 相互の仲介・ネットワーク」「企業との仲介・協働」「ボランティア等的人的資源の仲介」「資金調達・配分」といった、地域の多様な主体や資源との仲介役として期待する意見も多く、これからの中間支援団体には、性質の違う行政文化、企業文化、地縁団体を理解し、対等な立場で NPO 法人と結んでいく「つなぎ役」となる人材の育成が求められていると思われます。

次号は、「認定 NPO 法人化に向けた取組」から抜粋したものを掲載する予定です。

環境 福祉 子ども 災害 人権 まちづくり

連合・愛のキャンパ [地域助成]

受付期間 3月31日(日)

- 対象団体
- ① 地方連合会の推薦がある団体
 - ② 連合組合員およびその家族、あるいは退職者が、積極的に NPO などの運営に参加している団体
 - ③ 地方連合会が日常的な活動で連携している、NPO 等の団体
- (構成組織が推薦する場合も地方連合会へ申請すること。)

※ 社団・財団・社会福祉・医療・学校・宗教法人は対象外

- 対象活動
- ① 大規模災害などの救援・支援活動
 - ② 戦争や紛争による難民救済などの活動
 - ③ 人権救済活動
 - ④ 地球環境保全活動
 - ⑤ ハンディキャップをもった人たちの活動
 - ⑥ 教育・文化などの子どもの健全育成活動（スポーツを除く）
 - ⑦ 医療や福祉などの活動
 - ⑧ 地域コミュニティー活動

助成金の額 総事業額と助成希望額を申請

応募方法 HP より申請書をダウンロードして、必要事項をご記入の上、必要な添付資料を添えて、所在地の地方連合会「連合・愛のキャンパ係」へ郵送。(地方連合会の所在地は HP を参照)

問合せ先 所在地の地方連合会

HP <http://www.jtuc-rengo.or.jp/info/boshuu/2013campa/chiiki.html>

文化

ポーラ伝統文化振興財団 2013 年度助成

受付期間 3月31日(日) 当日消印有効

対象団体 個人、団体のいずれも申請可能。団体の場合、法人格の有無不問。但し、持続性のある活動団体であることを原則とする。

対象活動 伝統工芸技術・伝統芸能・民俗芸能および行事など、日本の無形の伝統文化財の記録や研究、保存・伝承活動において、有効な成果が期待できる事業。

助成金の額 1件につき30万円～200万円程度。(3～4件)

応募方法 HP より事業助成申込書をダウンロードし必要事項を記入の上、書留にて送付。

問合せ先 (公財) ポーラ伝統文化振興財団 助成事業事務局
〒141-0022 東京都品川区東五反田 5-24-10
テラサキ第3ビル2階
Tel 03-5795-1279 Fax 03-3280-2830

HP <http://www.polaculture.or.jp/promotion/jyoseiapply.html>

E-mail HP ホームページ

募集とご案内

地域の資源をつなげる情報交流会 ～自分たちの活動にとってふ さわしい資金調達法は何か～

中部地域で活躍されている4団体の代表の方々を招き、NPOや市民活動団体の資金調達についての情報交流会を開催します。新しいファンドレイズの在り方を模索しつつ、ご自身の活動に最適な資金調達法を探る場にぜひご参加ください。

<登壇者>

木村 真樹氏

コミュニティ・ユース・バンク momo 代表理事

平沼 辰雄氏

おひさま自然エネルギー(株) 代表取締役

和喜田 恵介氏

NPO法人中部リサイクル運動市民の会共同代表

竹内 ゆみ子氏

認定NPO法人ソムニード 専務理事

日時 2月2日(土) 13:00～17:15

場所 名古屋文化短期大学 B館 401教室 (名古屋市中区葵一丁目17-8)

対象 中部地域のNPO・任意団体・その他個人の活動家など、豊かな地域社会づくりに関心のある方

募集人数 100名 ※先着順

参加費 500円(資料代)

申込締切 1月31日(木)

応募方法 HPの「申込みURL」から申込み。E-mailの場合は、HPに記載の「参加申込みフォーム」に必要な事項を記入して送信。

問合せ先 (特活) 地域の未来・支援センター 〒460-0014 名古屋市中区富士見町9-16 有信ビル2階
Tel 052-331-6141(矢澤)
Fax 052-339-5651

メール office@c-mirai.org

HP <http://blog.canpan.info/c-mirai2/archive/577>

鼎談 伊賀の企業人が吠える!! ～企業の社会的責任と新しい公共を語る～

伊賀・名張の企業人3人が集まり、「新しい公共推進」の企業セクターの役割を明らかにし、その社会的責任について考え話し合います。

地域の人々の生活を支え、そして地域の人々から支えられている、そんなお店のあり方はある面でNPO活動と言えるのではないのでしょうか。

<参加企業人>

田中 愛一郎氏

丸夕田中青果加工株式会社 代表取締役社長

中村 伊英氏

菓匠桔梗屋織居 代表取締役社長

菊山 賢二氏

丸栄建設株式会社 代表取締役社長

日時 2月9日(土) 19:00～

場所 は里まや(名張の歴史ある料理店) 名張市松崎町1438-3

対象 企業人、自治会、NPO、行政などのみなさん

募集人数 50名 ※要申込み

参加費 500円(ワンドリンク+資料代)

問合せ先 (特活) なばりNPOセンター事務局 〒518-0726 名張市上三谷268-1(エコリゾート赤目の森内)
Tel 0595-64-0051
Fax 0595-63-4314

メール mail@nabari-npo.org

HP <http://www.emachi-nabari.jp/siminkatudou/information/bosyu/hp8978/>

女性のためのパワーアップ・トレーニング イマのキャリア・・・のぼる? とどまる?働くわたしの処世術

社会参画に役立つ実践力を磨きます。

・折れない自分をつくる自分マネジメント力

・効果的なプレゼン、スピーチのしかた

・自分も相手も楽にするコミュニケーション術

講師 中川 和子さん

NPO法人日本フェミニストカウンセリング学会所属/フェミニストカウンセリング堺代表/フェミニストカウンセラー

日時 2月9日、16日、23日(3日間全て土曜日) 10:30～15:30

場所 フレンテみえ1階 生活工房

募集人数 女性24名 ※先着順

参加費 7,500円(三重県内在住・在勤・在学以外の方は8,250円)

※託児 1日500円/人

(1歳6ヶ月～小学3年生)

応募方法 Tel、E-mail、郵便または「フレンテみえ」事務室にて、講座名・氏名・年齢・電話番号・住所・託児の要否などを連絡。※詳細はHP参照

問合せ先 三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」事務室 〒514-0061 津市一身田上津部田1234
Tel 059-233-1131

メール frente@center-mie.or.jp

HP <http://www3.center-mie.or.jp/center/frente/jigyou/index.html>

～スキルアップ講座 Part2～

知って役立つ! 作って遊ぶ折り紙講座

遊べる折り紙って何があるの? 遊べる折り紙で楽しくふれあうコツは? 折り方だけではなく、折り紙でふれあうコツも学ぶ講座です!

○折り紙をとおしたふれあい方のコツ

○対象別、咄嗟に手早く折れて遊べる折り紙、今人気の折り紙の紹介と実践(実際に折って遊びます)

講師 岡 一郎さん

日本折紙協会講師/福祉リクレーションワーカー

日時 2月9日(土) 9:30～11:30

場所 白子コミュニティセンター(鈴鹿市江島本町13-37)

対象 学校や子育て支援や福祉の施設等で活動されている方
折り紙に興味のある方、親子での参加もOK

参加費 無料

持ち物 はさみ、のり

募集人数 20名

応募方法 2月5日(火)までにTel、Fax、E-mailにて申込み

問合せ先 すずか生涯学習インストラクターの会 事務局

Tel 090-8864-0211(一尾)

Fax 059-386-6744

メール tka-ichi@mecha.ne.jp

大学・地域連携シンポジウムの参加者募集 「学生」×「地域」の取組事例発表会

県内の16の学生グループが、日頃取り組んでいる活動や取組にける思いを発表し、会場参加者が共感する取組に投票するコンテスト形式の発表会を開催します。また、「地域にシゴトと若者の挑戦の場を創る」と題して、鳥取県にあるNPO法人学生人材バンク代表理事の田中玄洋氏の講演も併せて開催します。

日時 2月10日(日) 13:00～17:00

場所 三重県庁 講堂(津市広明町13番地)

対象 地域団体、NPO、企業、学生、大学関係者等

参加費 無料 ※要申込み

問合せ先 三重県戦略企画部 企画課
Tel 059-224-2025(羽田)
Fax 059-224-2069

メール kikakuk@pref.mie.jp

HP <http://www.pref.mie.lg.jp/TOPICS/2013010066.htm>

～すずか&みえの食講座～

伝えよう!作ろう!郷土料理

郷土に伝承されている料理とは、その土地で培われてきた産物を用い、四季折々の行事にちなんで調理されたり、神・仏・家族と共に共食されてきました。鈴鹿市および三重県に伝わる「郷土料理」を一緒に作ってみませんか?

【料理内容】

めはり寿司(熊野地域)、ご汁(鈴鹿市下大久保)、のっぺい(伊賀地域)、いも餅(東紀州地域)

講師 岡野 節子さん 管理栄養士

日時 2月15日(金)9:30～13:00

場所 鈴鹿市ふれあいセンター(鈴鹿市南玉垣町6600)

対象 どなたでも

参加費 500円程度(材料費)

持ち物 ふきん、エプロン、三角巾(バンダナ)、スリッパ(調理室用)

募集人数 20名

応募方法 2月10日(日)までにTel、Fax、E-mailにて申込み

問合せ先 すずか生涯学習インストラクターの会 事務局

Tel 090-8864-0211(一尾)

Fax 059-386-6744

✉ tka-ichi@mecha.ne.jp

未登録の方、登録を断念された方向け フェイスブック登録講座

「フェイスブック」とは、知り合いとインターネット上でつながり、交流ができるサービスです。本講座では、フェイスブックに関する基本的な説明と、実際にフェイスブックに登録するまでのサポートを行います。

講師 石丸 隆彦さん 松阪市市民活動センタースタッフ

日時 2月20日(水)13:30～15:30

場所 松阪市市民活動センター(松阪市日野町788 カリヨンビル3階)

参加条件 ・ノートパソコンとメールアドレスをお持ちの方
・スマートフォンをお持ちの方
※上記以外の方は事前に問い合わせ

募集人数 10名

参加費 500円(経費を除いた参加費は、東北震災の被災地支援金として募金します)

応募方法 件名を「フェイスブック講座希望」とし、「氏名・住所・電話番号」をTel、Fax、E-mailのいずれかで連絡。窓口での直接申込み可。

問合せ先 松阪市市民活動センター

Tel 0598-26-0108

Fax 0598-25-3803

✉ katsudou@ma.mctv.ne.jp

HP <http://www.katsudou.com>

地域人権啓発事業

映画上映会「アントキノノチ」を開催

映画という身近な存在を通して人権意識を高め、すべての人が大切にされ、尊重される社会を実現することを目指して、三重県(桑名県民センター)と東員町の共催で映画上映会を開催します。

「アントキノノチ」2011年

監督 瀬々 敬久(131分)

日時 2月23日(土)13:30～

場所 東員町総合文化センター ひばりホール(員弁郡東員町大字山田1700)

募集人数 702名

参加費 無料 ※整理券必要

整理券 配布場所:

下記の問合せ先および東員町総合文化センター、笹尾連絡所

問合せ先 三重県桑名県民センター 県民防災室 総務・生活課

Tel 0594-24-3600

東員町役場 生活福祉部 生活環境課
Tel 0594-86-2807

HP <http://www.pref.mie.lg.jp/TOPICS/2012120332.htm>

元五輪選手佐伯美香さん講演会

「バレー人生で学んだこと」

受付期間 3月9日(土)18:00～19:30

場所 安濃中央総合公園内体育館 会議室

募集人数 150名

※定員になり次第締切

参加費 500円

主催 (特活)あのおスポーツクラブ

後援 津市教育委員会

応募方法 Tel、Faxにて申込み。または、安濃中央総合公園内体育館で直接申込み。

問合せ先 安濃中央総合公園内体育館 〒514-2325 津市安濃町田端上野818

Tel 059-268-0100

Fax 059-268-3220

✉ E-mail **HP** ホームページ

【情報を提供していただく皆様へ】

市民活動・ボランティアニュースの原稿用フォーマットができました!掲載希望の際は、ホームページからフォーマットをダウンロードしていただき、E-mailまたはFaxにて以下の要領でお送りください。

(1)フォーマットに必要事項を入力の上、毎月10日までにお送りください。

(2)E-mailは件名に「市民活動・ボランティアニュースへの掲載希望」と明記してください。

ホームページ 原稿用

フォーマットダウンロード手順

トップページから「みえ市民活動・ボランティアニュース」のボタンをクリック。「イベント情報投稿」「募集情報投稿」の2種類がありますので、掲載内容によってお選びください。「申し込みフォーム」をクリック後、出力していただくか、データをパソコンに保存してお使いください。

<http://www.mienpo.net/center/>

E-mail center@mienpo.net

Fax 059-222-5971

転載を希望の場合は必ず「みえ県民交流センター指定管理者:みえNPO ネットワークセンター」に連絡してください。

みえぎんNPOローン

好評取扱中

委託金、助成金等の受け取りまでの「つなぎ資金」として最高1,000万円まで無担保でご融資!

対象:三重銀行の三重県下営業エリア内に主たる事務所を有するNPO法人

※ただし、当行所定の審査の結果、ご希望に添えないことがあります。

“地域とともに みなさまとともに”

詳しくはTEL059-354-7130(審査部)まで
URL: <http://www.miebank.co.jp>



三重銀行

NPO 相談 Q&A

日頃受けている相談内容などから順次、紹介していきます。

Q 任意団体を NPO 法人にするとき、税金の面から気を付けたらいいことは何ですか？

A NPO 法人格を取得すれば、自動車や不動産の取得などが法人名義でできると同時に、通常の税も課されます。ただ、NPO 法人の場合、領収書への収入印紙の貼付（印紙税）は免除されます（契約書を除く）。その他、主たる税は以下の通りです。

- ①法人税：法人税法に規定されている 34 種類の収益事業を行う場合、その収益事業から生じた所得に対してかかります。（ただし、赤字であれば不要）
- ②法人住民税（都道府県民税と市町村民税）：法人税割と均等割に分けられ、均等割は法人税法の収益事業を行うかどうかにかかわらず、一定額（都道府県民税は 2 万円、市町村民税は 5 万円）が課税されます。ただし、ほとんどの自治体では、法人税法上の収益事業を行わない場合は、減免申請を行えば減免されるので、忘れずに申請しましょう。
- ③消費税：商品・製品の販売、役務の提供のとき、その対価に対してかかります。ただし、売上が年間 1000 万円を超えた場合のみしか課税されません。また、消費税が課税されるかどうかは、「2 年間の売上が 1000 万円を超えているかどうか」で判断されるので、設立後約 2 年間は、課税されません。

図書コーナー

県民交流センターの一角にある図書コーナーでは、NPO、協働、ボランティア、福祉、環境、防災など、いろいろな分野の活動に役立つ本や資料、ビデオを貸し出しています。ぜひお立ち寄りください。

〈Monthly Selection〉

- ◆地球環境基金 平成 23 年度活動報告集
編集・発行：独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金部
平成 23 年度活動報告集製作委員会
発行日：2012 年 9 月
- ◆平成 23 年度奉仕活動・体験活動の推進・定着のための研究開発
地域における NPO 活動やボランティア活動等の実態に関する調査研究報告書
発行：文部科学省国立教育政策研究所 社会教育実践研究センター
発行日：2012 年 3 月
- ◆NEC キャピタルソリューション株式会社 CSR Report 2011
編集・発行：NEC キャピタルソリューション株式会社 コミュニケーション部
発行日：2011 年 6 月
- ◆NEC キャピタルソリューション株式会社 CSR Report 2012
編集・発行：NEC キャピタルソリューション株式会社 コミュニケーション部
発行日：2012 年 6 月

NPO マネジメント 指導講座 開催のお知らせ

みえ NPO ネットワークセンターでは、中間支援組織や NPO 等のスタッフが、テーマに沿ったマネジメント支援力を伸ばすことで、支援者として地域から信頼され、必要とされることを目指すセミナーを開催します。

- ・地域に眠る資金の有効活用を提案できる支援者になろう
【日 時】2013 年 1 月 29 日（火）14:00～16:30
【講 師】木村真樹さん コミュニティ・ユース・バンク momo 代表理事
- ・暗闇の中で学ぶ「誰かを支援するときに大切にしたいこと」
【日 時】2013 年 2 月 13 日（水）14:00～16:30
【講 師】久保博揮さん・肥後道子さん
一般社団法人日本ダイバーシティ推進協会 代表理事

【場 所】みえ県民交流センター
（三重県津市羽所町 700 番地 アスト津 3 階）
【対 象】中間支援組織、NPO の職員等
【受講料】各回 500 円
【定 員】各回 20 名（先着）
【主 催】特定非営利活動法人みえ NPO ネットワークセンター

【お問い合わせ・お申込み】
みえ市民活動ボランティアセンター（担当：竹内 勝、鈴木 健悟）
Tel: 059-222-5995 Fax: 059-222-5971
E-mail: center@mienpo.net

認証した特定非営利活動法人 （2012 年 12 月 10 日～2013 年 1 月 9 日認証分）

①認証団体名②法人事務所の所在地③活動分野④認証年月日⑤代表者

- | | |
|-------------------------|---|
| ①特定非営利活動法人
志摩スポーツクラブ | ①NPO 法人 ゆーす |
| ②志摩市志摩町布施田 1101 番地 | ②名張市美旗町南西原 4508 番地 6 |
| ③まちづくり、学術、子ども | ③保健、職業能力 |
| ④2012 年 12 月 26 日 | ④2012 年 12 月 26 日 |
| ⑤理事長 浦口 保夫 | ⑤代表理事 藤本 隆介 |
| ①特定非営利活動法人
夏、舞い咲いた会 | ①特定非営利活動法人 中部地域活性化研究会 |
| ②いなべ市藤原町大貝戸 781 番地 1 | ②四日市市新正 3 丁目 17-3 |
| ③保健 | ③保健、社会教育、まちづくり、観光の振興、
農山漁村・中山間地域、学術、環境、災害、
地域安全、人権、国際、男女、子ども、
情報化社会、科学技術、経済活動、職業
能力、消費者、その他 |
| ④2012 年 12 月 26 日 | ④2013 年 1 月 9 日 |
| ⑤理事長 城元 直美 | ⑤理事長 森下 育 |

三重県が認定・仮認定した特定非営利活動法人 （2012 年 12 月 10 日～2013 年 1 月 9 日認定・仮認定分）

①認定・仮認定②認定・仮認定日③認定・仮認定の有効期間④法人名
⑤主たる事務所の所在地⑥活動分野⑦代表者

- ①仮認定
- ②2012 年 12 月 18 日
- ③2012 年 12 月 18 日～2015 年 12 月 17 日
- ④特定非営利活動法人 森林の風
- ⑤四日市市三滝台四丁目 15 番地 7
- ⑥環境、子ども
- ⑦理事・会長 蒲田 博



「NPO から寄せられた募集とご案内コーナー」の原稿締切は前月 10 日です。掲載希望の方は 10 日までに情報をデータでお送りください。（詳細 6 ページ）

みえ市民活動・ボランティアニュースはこちらにあります。

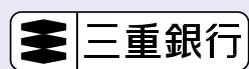
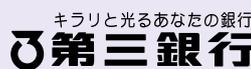
【地域の市民活動センター等】津市）みえ市民活動ボランティアセンター/津市市民活動センター/三重大学/看護大学/三重短期大学/高田短期大学（桑名市）桑名市市民活動センター（いなべ市）いなべ市市民活動センター（東員町）とういんボランティア市民活動支援センター（四日市市）四日市市民活動センター/四日市大学（亀山市）亀山市民協働センター（鈴鹿市）市民ネットワークすずかのぶどう/鈴鹿国際大学/鈴鹿医療科学大学（松阪市）松阪市市民活動センター/三重中京大学（伊勢市）いせ市民活動センター/皇学館大学（鳥羽市）鳥羽 NPO ネットワークセンター・結（志摩市）志摩市市民活動支援センター/横山ビジターセンター（名張市）名張市市民活動支援センター/エコリポート赤目の森/名張市立図書館/名張青年会議所/名張市総合福祉センター（伊賀市）伊賀市市民活動支援センター/伊賀市立図書館/伊賀青年会議所（尾鷲市）東紀州コミュニティデザイン（明和町）めいわ市民活動サポートセンター（南伊勢町）南伊勢町町民文化会館（紀宝町）紀宝町ボランティア市民活動センター

【地域の社会福祉協議会】県内の市町社会福祉協議会
【金融機関・企業等】百五銀行各店/第三銀行各店/三重銀行各店/東海労働金庫各店/県下 JA/バンク各店/メディカルー光各調剤薬局

【行政機関等】三重県庁県民ホール/三重県地域機関（各県民センター）[桑名、四日市、鈴鹿、津、松阪、伊勢、伊賀、尾鷲、熊野]/三重県米町庁舎（情報公開窓口）/三重県総合医療センター/三重県立一志病院/三重県立志摩病院/三重県立こころの医療センター/三重県立こころの健康センター/斎宮歴史博物館/三重県立博物館/三重県立図書館/三重県生涯学習センター/三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」/三重県人権センター/三重県身体障害者総合福祉センター/三重県環境学習情報センター/三重県鳥羽パート情報センター/三重県立熊野古道センター/各市町役場/各市町中央公民館など

協賛

みえ市民活動・ボランティアニュース発行にあたり、協賛をいただいております。



環境にやさしい植物油インキを使用しています。